

突撃！わらびの学校給食

『重陽の節句』



令和2年9月

9月9日に小学校で、9月10日に中学校で『重陽の節句献立』が登場しました。『重陽の節句』は、五節句のうちの1つです。旧暦の9月9日は現在の10月中旬頃にあたり、菊が美しく咲く時期であることから、『菊の節句』とも呼ばれています。

菊は、邪気を払い長寿の効果があると信じられていたことから、『重陽の節句』では、菊の香りに移した「菊酒」を飲み邪気を払い、無病息災や長寿を願ったそうです。

松尾芭蕉も1961年9月9日の「重陽の節句」に菊酒を飲みながら、俳句を詠んでいました。

草の戸や 日暮れてくれし 菊の酒



松尾 芭蕉



小学校

9月9日の献立

- ・茶飯
- ・牛乳
- ・さば辛味焼き
- ・五色和え
- ・すまし汁
- ・ももゼリー

すまし汁

菊の形をしたかまぼこを入れました。

五色和え

古代中国には、すべてのものは、木・火・土・金・水の5つの要素で作られているという考え方があったそうです。

それぞれを色で表すと、木は青、火は赤、土は黄、金は白、水は黒を表しています。今回は、5色を使った和え物を提供しました。

※きゅうり（青）、にんじん（赤）、とうもろこし（黄）、もやし（白）、わかめ（黒）

突撃！わらびの学校給食



『お月見献立』

令和2年9月

10月1日の「中秋の名月」を前に、9月30日に小学校で、9月28日に中学校で『お月見献立』が登場しました。

「お月見」とは、1年の中で空が最も澄み渡る旧暦の8月に、美しく明るい月を眺める行事の事です。もともと旧暦の8月15日としていたことから「十五夜」とも呼ばれています。

りんごのタルト



秋が旬のりんごを使ったデザートです。丸い形で、夜空に浮かぶ満月をイメージしました。

にしんの昆布煮

「にしん」は春と秋～冬に旬がある魚です。卵や白子を味わうなら春、脂がのった身を味わうなら秋～冬がおすすめです。



中学校

9月28日の献立

- ・ごはん
- ・牛乳
- ・にしんの昆布煮
- ・コーンサラダ
- ・お月見汁
- ・りんごタルト



お月見汁

お月様うさぎをイメージした「かまぼこ」を入れました。中学校のみ、『十五夜』に飾るお団子をイメージして、白玉団子を入れています。団子を空に向かって高く積み上げることで、収穫への感謝や祈願の気持ちを月まで届けようという願いが込められたそうです。



うさぎの絵がかいてありましたが、気がつきましたか？



白玉団子がくっつかないように、丁寧に混ぜながら作ってくれました！

